

科目名	真言密教特殊講義 I (密教瞑想)			学期	後期	単位数	2	担当者	佐藤隆彦
副題	-								
ナンバリング	M3-01-314	授業方法	講義	実務経験の有無			無	関連DP	2
授業の目的と概要									
阿字観は、阿の一字を徹頭徹尾観ずる密教の観法である。通常の密教実践は出家者にだけ許されているが、阿字観は在家の人でも修することができる。密教観法の一つである阿字観について一般的な講義をおこなう。阿字観の実修も実際に行うとともに生死観についても言及する。後半は聖地巡礼で高野山を巡る。									
授業の到達目標									
密教の観法を通して、密教が持つ世界観、死生観に触れ、それを現代的視点で考えることができるようになる。									
授業計画									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 密教瞑想とは 2. 阿息観の理論 3. 阿息観の実践方法 4. 阿字の哲学 5. 阿息観の実習 (阿息観) 6. 阿息観の実習 (臨終瞑想法としての阿息観) 7. 密教における死生観 (臨終の環境をいかに整えるかについて) 8. 密教における死生観 (臨終正念) 9. 月輪観 10. 阿字観 11. 聖地巡礼 12. 聖地巡礼 13. 聖地巡礼 14. 聖地巡礼 15. まとめ 									
準備学習 (予習・復習) ・時間									
事後学習として、授業で習得したことを整理し、身に付けること。(120分)									
テキスト									
①山崎泰廣著『真言密教阿字観瞑想入門』(春秋社) その他コピー配布									
参考書・参考資料等									
『大日経』、『大日経疏』、『定本弘法大師全集』等									
学生に対する評価									
レポート(80%)、授業参加の積極性(20%)									
ルーブリック (目標に準拠した評価)									
(C) 密教の基本的文献を調査し読むことができる。									
(B) 密教の死生観について基本的内容を理解できる。									
(A) 密教の死生観についてその内容を深く理解できる。									
(S) 密教の死生観を踏まえたうえで、自らの死生観を論理的に他者に対して述べる事が出来る									
課題に対するフィードバックの方法									
講義のまとめり毎、実修毎にフィードバックを行う。									
その他									
楽に坐れる服装で出席のこと。匂いの強い化粧、ネックレス、イヤリングをしないこと。受講の間に、積尊の胸中、空海の悠大な悟境の片鱗に触れていただきたい。									
実務経験のある教員が行う授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業内容か)									